

北海道浮魚ニュース

平成 10 (1998) 年度 21 号 (通巻 No.42)

1998 年 10 月 7 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

オホーツク海サンマ初漁期調査結果

全体の分布は多くないものの、刺網で 1 反当たり数百尾漁獲した地点も

1998 年 9 月 28 日～10 月 1 日の間に行われていた、稚内水産試験場試験調査船北洋丸によるオホーツク海わが国 200 海里水域内におけるサンマ初漁期調査が終了しました。結果の概要は以下のとおりです。

1. 表面水温は 9 月上旬に行った漁期前調査時に比べ、沖合域ではかなり降温し、広い範囲で 12～13℃台でした。しかし沿岸域では 15～18℃台と、まだやや高い状態でした (図 1)。
2. 網走沖から知床岬沖にかけての沿岸域表面は、その他の海域に比べ 15℃台以上の比較的高い水温が広く覆っていました。
3. 夜間、停船・点灯しての目視調査および航行中の探照灯による探索調査では、サンマは概ね表層水温 15℃未満の沖合域に分布していました (図 2)。
4. 調査海域のうち、最も沖合域の 2 地点 (45° 13' N-143° 41' E および 45° 08' N-144° 31' E) では、まとまった魚群が確認され、刺網による漁獲調査を行いました。しかし、それ以外の地点では、漁獲の対象となるような魚群は確認されませんでした (図 2)。
5. 上記 2 地点における刺網による漁獲調査では、前者の地点においては目合 29mm 1 反で 614 尾、目合 37mm 1 反で 707 尾、後者の地点では目合 29mm 1 反で 167 尾、目合 37mm 3 反で 1,922 尾が漁獲されました。
6. 漁獲されたサンマは、2 地点とも目合 29mm の刺網で漁獲されたものは体長 21cm 台と 25～26cm 台に、目合 37mm の刺網で漁獲されたものは体長 26～27cm 台と 30～31cm 台に組成の峰を持つ個体でした (図 3)。
7. 網走港 10 月 6 日、道東太平洋からサンマ棒受網漁船がオホーツク海へ回航してきて、10 月 7 日には網走港で 40 隻が約 600 トンのサンマを水揚げしました。漁場は網走沖約 10 マイル水温 12℃台の海域で、魚体は大型魚主体でした (図 3)。

(文責 網走水試資源管理部)

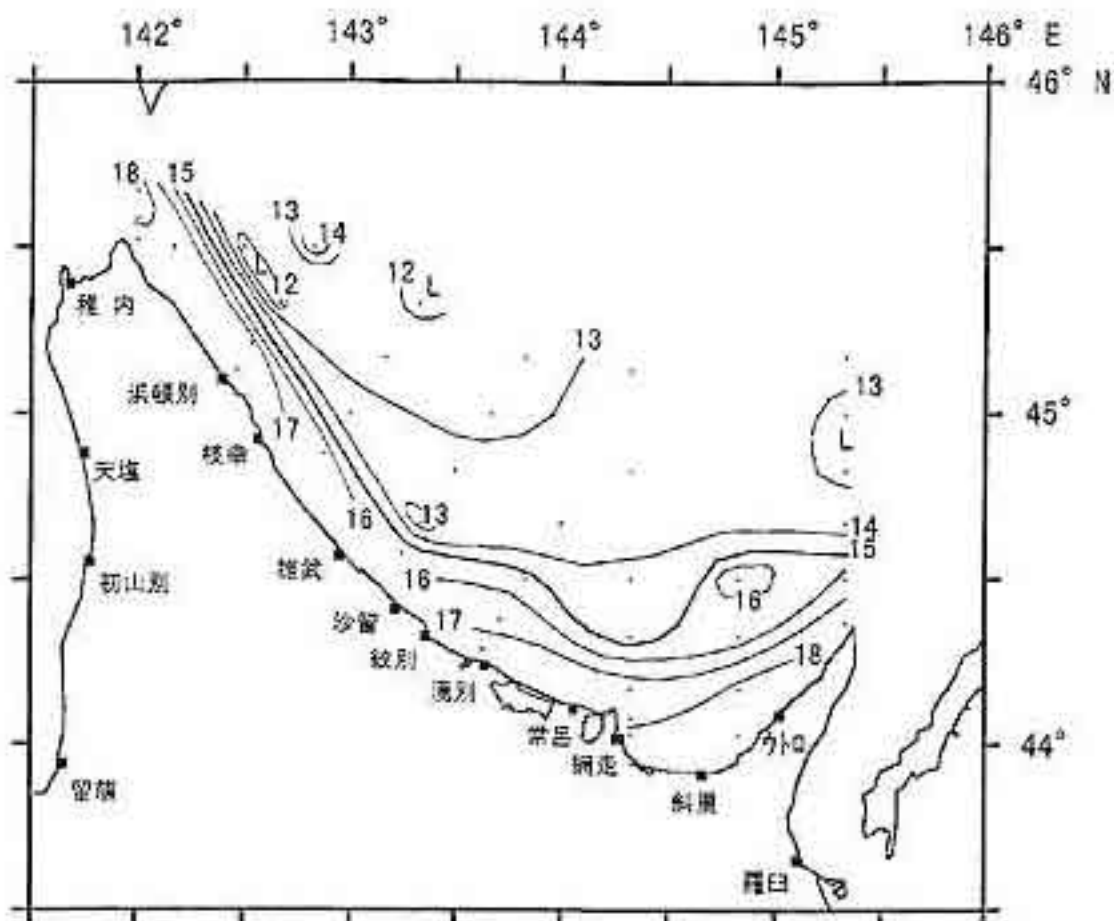


図1. 北洋丸による初漁期調査時（1998年9月28日～10月1日）の表面水温

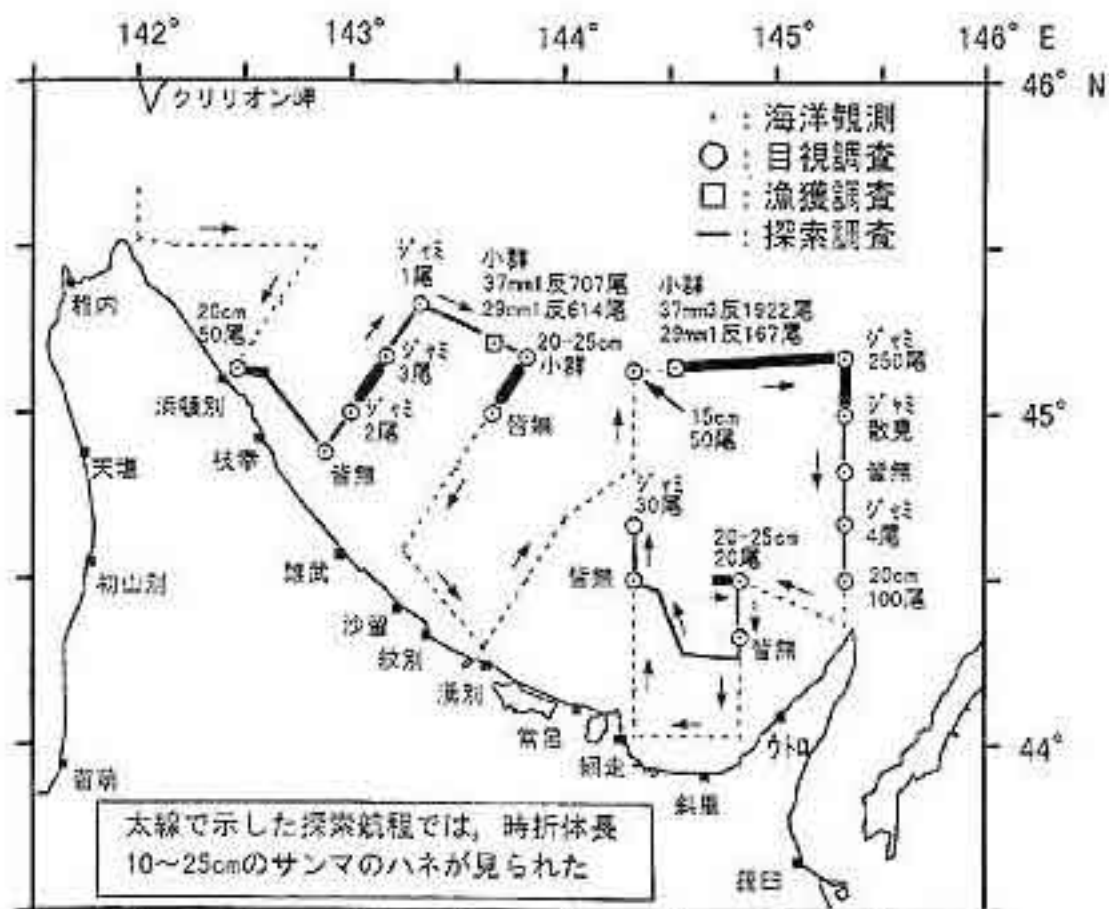


図2. 北洋丸による初漁期調査時（1998年9月28日～10月1日）の探索・目視結果

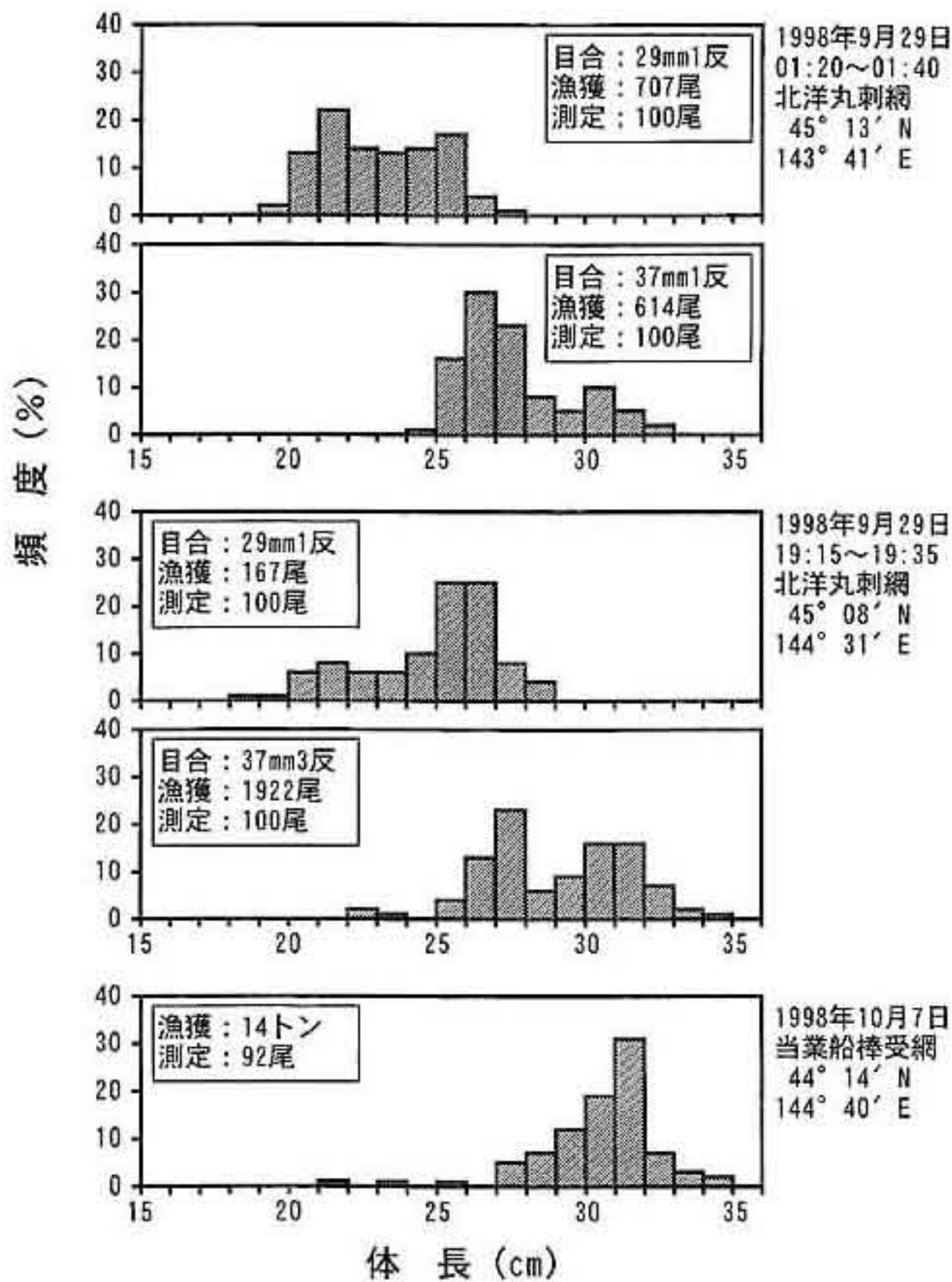


図3. 北洋丸刺網および当業船棒受網によって漁獲されたサンマの体長組成